

神戸市役所からの派遣職員

農都政策課 小名木航太さん

令和5年4月に、神戸市役所から丹波篠山市に派遣され、1年間、農業関係の業務に従事されてきた小名木航太さん。4月からは神戸市に戻られることになりました。ここでは、丹波篠山で学ばれた活動の成果をお届けします。
(聞き手=秘書広報課)



心に農村を未来につなぐ幅広い業務に従事する」とあり、大学では農学部を出て農業に対する苦手意識もないこと、生きものが好きで生物多様性に強い関心があったため希望しました。

丹波篠山市役所では、どんな仕事に携わりましたか？

市役所では農都政策課に勤務し、農業関係の幅広い業務に携わりました。職員の人数も限られているため、担当外の分野でも窓口立つこともあり、来庁した市民の方々の役に少しでも立てるよう、必死に対応しました。窓口の受付業務以外にも、農業振興関係の各種イベント関係(桑農セミナー、黒枝豆解禁セレモニー、ふるさと農業まつりなど)を担当したほか、丹波篠山市農業生産組合協議会の事務担

特に思い出に残っている業務は何ですか？

イベント関係に携わることも多く、印象に残る仕事を数多くさせていただきましたが、「オオサンショウウオの魚道整備」が特に印象に残っています。落差が大きくオオサンショウウオが登れなくなっている堰の脇にスロープを作って、生きものたちが遡上できるようにする作業を少しだけ手伝わせていただきました。もともとオオサンショウウオを観察に行っていた地域だったのもあり感慨深く、忘れられない思い出となりました。

丹波篠山市の農村環境をみてどう感じましたか？

人々の暮らしと農村環境がほぼよく調和してとても過ごしやすい町だなと感じました。私は生き物の中で特にヘビやカエルが好きで、丹波篠山で過ごしたこの1年は、仕事終わりや休みの日に野山に出て、それらの生き物を探してきました。その中で、田んぼや里山など生きものが住みやすい環境が都市部のすぐ近くにも多く残されていると感じました。

これもひとえに草刈りや水路の管理をしてくださっている方々のおかげだと感じています。自然と触れ合うためには、それを維持管理して下さっている方々がおられないと始まらないと思っています。この素晴らしい環境を次世代に引き継いでいくため、丹波篠山市の農業政策に微力ながら関わりたいことを誇りに思います。

神戸市に戻って、この経験をどのように生かしていきたいですか？

神戸市に戻ってからどの部署に配属されるかは分かりませんが、さまざまな業務に対応してきた対応力を生かしていきたいと思えます。神戸市では都市計画に携わり、特定の分野に特化した業務を行ってききました。丹波篠山市では

最後に丹波篠山市へ一言お願いします。

丹波篠山市で1年を過ごし、住めば住むほど丹波篠山が好きになりました。そんな丹波篠山の地を離れるのは寂しいですが、デカンショ祭や黒枝豆の季節はもうろん、生きものを探しに定期的に遊びに来たいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



セトウチサンショウウオ
普段は森に住んでいますが、繁殖時には田んぼ脇の水路などの水場で産卵します。市内で多く発見することができ、環境に配慮した水路のすばらしさを実感できました



オオサンショウウオの魚道整備



黒大豆莢数計測



城東小学校での授業

田んぼや里山など、生きものが住みやすい環境が多く残されているのはその環境を普段から維持管理してくださっている方々のおかげです

